

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **02218251 A**

(43) Date of publication of application: **30.08.90**

(51) Int. Cl. **H04M 1/00**
G06F 3/033
H04M 1/02

(21) Application number: **01039611**

(71) Applicant: **FUJITSU GENERAL LTD**

(22) Date of filing: **20.02.89**

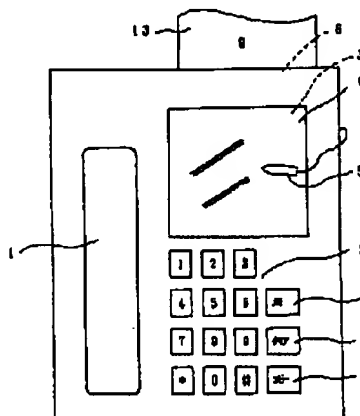
(72) Inventor: **KADOKURA SACHIKO**

(54) TELEPHONE SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To arrange the space of a telephone system neatly by providing a picture display means and a picture write means and displaying a picture written by the said picture write means onto the said picture display means.

CONSTITUTION: A touch pen 5 is used to trace a touch panel 4, then the traced locus is detected by the touch panel 4 and fetched by a control section and stored in a memory. On the other hand, the content of the memory is always displayed on a liquid crystal display panel 3. Thus, the content written in the touch panel 4 by the touch pen 5 is displayed on the liquid crystal display panel 3 as it is. Since a memory is written in the touch panel 4 by using the touch pen 5 during the reception of a telephone call by a handset 1 and the memo is printed out as required, it is not required to place a memo around the telephone system.



COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

A08

⑫ 公開特許公報(A) 平2-218251

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)8月30日

H 04 M 1/00
G 06 F 3/033
H 04 M 1/02Q 8949-5K
A 7010-5B
A 7925-5K

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

⑮ 発明の名称 電話装置

⑯ 特 願 平1-39611

⑰ 出 願 平1(1989)2月20日

⑱ 発 明 者 門 倉 祥 子 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

⑳ 代 理 人 弁理士 長尾 常明

明 細 書

1. 発明の名称

電話装置

2. 特許請求の範囲

(1). 画像表示手段と画像書き込み手段を具備し、該画像書き込み手段で書き込んだ画像が上記画像表示手段に表示されるようにしたことを特徴とする電話装置。

(2). 上記画像表示手段に表示された画像内容をプリントするプリントを具備することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電話装置。

(3). 上記画像表示手段が液晶表示板からなり、上記画像書き込み手段がタッチパネルとタッチペンとからなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電話装置。

(4). 上記画像表示手段がCRTからなり、上記画像書き込み手段がライトペンからなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電話装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、メモ機能を有する電話装置に関する。
(従来技術)

電話による応対中にメモが必要となることが多くある。このような事態を想定して、電話の付近に置くためのペン付きメモ帳が多数提案されている。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、従来のメモ帳は電話の付近に常時置く必要があるために、電話装置回りが雑然とし見た目が良好ではなかった。

本発明の目的は、メモ機能を内蔵させて、電話装置回りをスッキリさせることができるようにした電話装置を提供することである。

(課題を解決するための手段)

このために本発明は、画像表示手段と画像書き込み手段を具備し、該画像書き込み手段で書き込んだ画像が上記画像表示手段に表示されるようにした。

(実施例)

以下、本発明の実施例について説明する。第1図はその一実施例の電話装置の外観を示す図であ

る。1は送受話器、2は電話用プッシュボタン群、3は液晶表示板、4は液晶表示板3の上面に配置される透明のタッチパネル、5はそのタッチパネルに書き込むためのタッチペン、6はプリンタ、7はメモボタン、8はクリアボタン、9はコピーボタンである。

第2図はそのメモ機能部分のブロックを示す図であり、CPUからなる制御部10に対して、上記した液晶表示板3、タッチパネル4、タッチペン5、プリンタ6、メモボタン7、クリアボタン8、コピーボタン9等が接続され、また画像記憶用のメモリ（VRAM）11も接続されている。

この実施例では、メモボタン7を押下することにより制御部10が動作を開始する。そして、タッチペン5によりタッチパネル4をなぞることにより、そのなぞった軌跡がタッチパネル4で検出されて制御部8に取り込まれ、メモリ11に記憶される。一方、液晶表示板3はこのメモリ11の内容を常時表示する。従って、タッチペン5でタッチパネル4に書き込んだ内容が、そのままその液

晶表示板3の面に表示されるようになる。

ここで、クリアボタン8を押下すれば、それまで記憶されていた画像内容がメモリ11から消し去られ液晶表示板3の表示がクリアされる。

また、コピーボタン9を押下すれば、メモリ11に記憶されている画像データがプリンタ6に転送されて、そのプリンタ6において用紙13にプリントアウトされる。このプリンタ6としては、静寂、小型、安価等の理由から熱転写方式のものが好適である。

この実施例によれば、送受話器1による電話応対中にタッチペン5によってタッチパネル4にメモを書き込むことができ、そのメモは必要に応じてプリントアウトすることができるので、電話装置回りにメモ帳等を置く必要はなくなる。

なお、電話装置に画像送受信用の液晶表示板が具備されている場合には、この液晶表示板を本実施例の液晶表示板3として兼用することができる。

また、この液晶表示板3にCRT（陰極線管）を使用することもできる。この場合はタッチパネ

3

4

ル4は不要であり、タッチペン5をライトペンに変更すれば良い。

また、タッチパネル4は必ずしも液晶表示板3の上面に設ける必要はなく、他の部分に設けることもできる。

（発明の効果）

以上から本発明によれば、電話装置がメモ機能を有するので、特別のメモ帳を用意する必要はなく、電話装置回りがスッキリする。またプリントアウトすることにより必要事項を記載したメモを持ち去ることもできる。

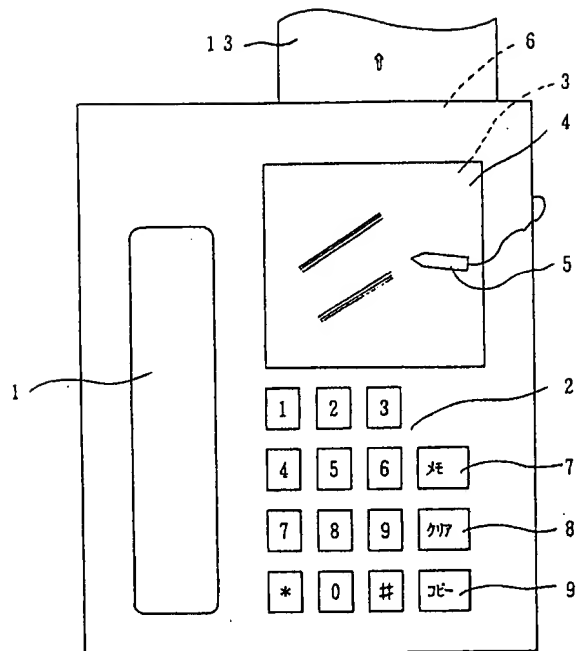
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の電話装置の外観を示す説明図、第2図は内部のメモ機能部分のブロック図である。

代理人 弁理士 長 尾 常 明

5

第 1 図



第 2 図

